

## 中国の記事から（畜産）

---

2006年9月20日号

### 目次

- ◎国家質検総局「粉ミルクの合格率は70%」  
【国際商報 2006年09月12日】
  - ◎8月以降タマゴが全国的に大幅値上り  
【市場報(人民日報主辦) 2006年09月13日】
  - ◎「全国乳業は近代化への転換期に」  
【経済日報 2006年09月14日】
  - ◎皓月集団、黒龍江省の肉牛加工事業が本格稼働  
【経済日報 2006年09月14日】
- 

- ◎国家質検総局「粉ミルクの合格率は70%」  
【国際商報 2006年09月12日】

国家質検総局(国家品質監督検閲検疫総局。製品品質を管理する)は、北京市、河北省、陝西省、山東省など9省・直轄市で粉ミルクメーカー27社の粉ミルク27製品を対象に行った品質サンプリング検査の結果を発表、合格率は70.4%となったことを明らかにした。「三鹿」「完達山」「伊利」「光明」「雅士利」「味全」ら10社製品は高品質と評価された。

一方、上海宝安力乳品有限公司の「憂慧」ブランド製品、スワトウ市智多星食品有限公司の「黄金」ブランド製品、広州金鼎乳品廠の「金鼎」ブランド製品が不合格となった。ビタミンなど栄養素含有量不足、脂肪含有量が基準をクリアしない、大腸菌含有量が基準をオーバーするなどの問題が目立っている。

---

- ◎8月以降タマゴが全国的に大幅値上り  
【市場報(人民日報主辦) 2006年09月13日】

8月以降、全国各地のタマゴ価格が大幅に上昇している。北京市朝陽区の青年路農産物取引市場の小売価格は、7月の4.4~4.6元(1kg。以下同じ)から8月は6元~6.4元に上昇した。

また、卸売価格も上昇。9月2日、北京市卸売市場でのタマゴ卸売価格は新発地が5.4元、岳各庄が5.5元、錦繡が5.7元に達した。その他の地区でもタマゴ価格は大幅に上昇している。8月上旬のタマゴ小売価格は河北省が5.8～6.0元、浙江省が6.3元、同省杭州市では7月上旬より27.2%増となった。

食品サイト大手の中国食品産業網(www.foodqs.com)によると、8月上旬の全国タマゴ平均価格は7月下旬より13.2%増の6.1元、全国93.5%の地区で値上りしている。飼料の値上がり、高温によるタマゴ生産量の減少、南部地区での洪水による輸送力の低下等が、タマゴ値上りの原因となっている。

---

### ◎「全国乳業は近代化への転換期に」

【経済日報 2006年09月14日】

中国乳業協会は、第5回会員総会を開催、全国乳業界の現状報告を行なった。同協会は、「全国の乳業界は従来の伝統的乳業から近代的乳業への転換期にある」とし、「優良品種が普及、飼育規模が拡大、加工能力・消費力が大幅に向上しつつある」との認識を示した。現在、全国の乳牛1216万頭のうち優良品種とされるホルスタインの飼育率は3分の1、20頭以上を飼育する農家は全体の4分の1、飼育設備も国際的水準に達しているとされる。

また、2005年現在、一定規模以上の乳製品加工業者は690社あり、このうち58社が1日300トン以上を加工、78社が年間売り上げ1億元を上回っている。三資企業(独資、合弁、合作)も78社を数える。このほか、全国の1人あたりの乳製品消費量は21.7kg(2005年)に達し、1995年以降で16.2kg増加している。

---

### ◎皓月集団、黒龍江省の肉牛加工事業が本格稼働

【経済日報 2006年09月14日】

吉林省長春皓月集団が黒龍江省穆リョウ市で建設した肉牛加工工場が本格的に稼働した。5億元を投じて建設、敷地面積は50ヘクタールに上る。年間に肉牛20万トンを加工する能力があり、年間売上10億元が見込まれている。皓月集団は肉牛飼育の全国最大手で、年間の牛肉輸出量は全国の50%を占める。21カ国・地区に輸出している。同集団と穆リョウ市は2004年1月、肉牛飼育、牛肉加工をはじめとする大型事業を同市で行うことで合意し、協定に調印していた。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。